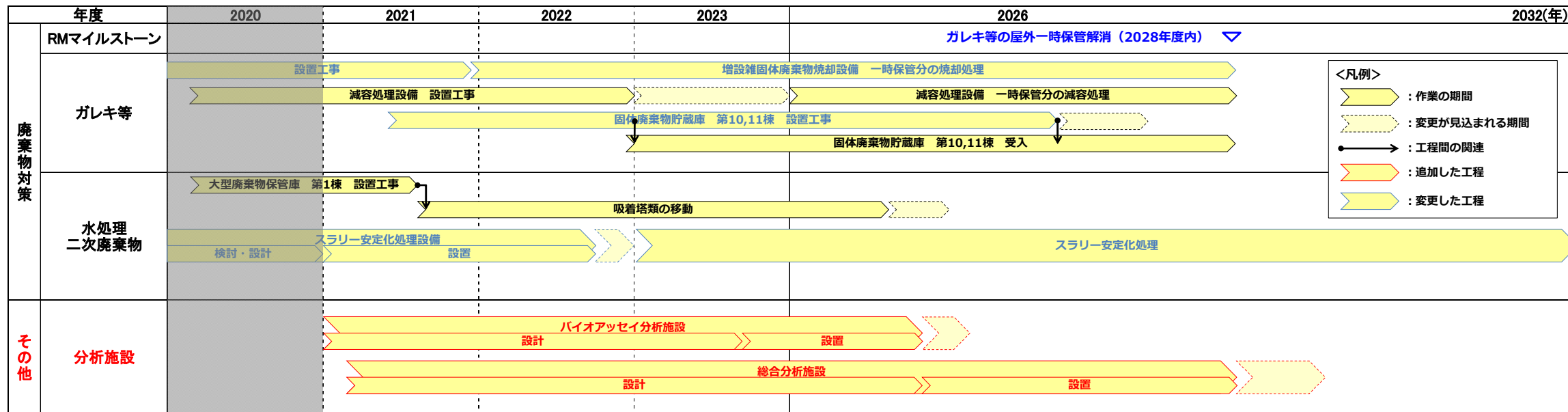




分野名	廃炉中長期実行プラン2021 目標工程	活り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	5月		6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月以降			備考			
					16	23	30	6	13	20	27	3	10	17	24	31	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15		22		
●その他廃棄物対策関連作業	3. 固体廃棄物の性状把握	処理・処分計画		<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サンプリング計画検討</li> <li>分析計画検討</li> <li>分析データ取りまとめ</li> <li>計画に基づいたサンプリングの実施</li> <li>水処理二次廃棄物分析</li> </ul> <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分析データ取りまとめ</li> <li>計画に基づいたサンプリングの実施</li> <li>瓦礫類分析</li> <li>汚染水分析</li> <li>水処理二次廃棄物分析</li> </ul>	サンプリング計画検討																						<ul style="list-style-type: none"> <li>土質活性度の分析データをデータベースに収録。</li> <li>多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取 (2022年3月完了予定)</li> <li>瓦礫類分析 (2022年1月完了予定)</li> <li>汚染水分析 (2021年12月完了予定)</li> <li>水処理二次廃棄物：ALPS吸着材等を分析中。</li> <li>これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられているリスト：<a href="https://clads.jaea.go.jp/rd/tech-info.html">https://clads.jaea.go.jp/rd/tech-info.html</a> 検索：<a href="https://frandl-db.jaea.go.jp/FRAN/DLI/">https://frandl-db.jaea.go.jp/FRAN/DLI/</a></li> </ul>				
					分析データ取りまとめ																										
					計画に基づいたサンプリングの実施																										
					水処理二次廃棄物分析																										
●分析施設	4. 分析・研究施設の設置	処理・設計	JAEA分析・研究施設第1棟	<p>(実績/予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建屋現地工事</li> <li>連絡通路等工事（連絡通路内装工事、建屋内仕上げ工事等）</li> <li>主要内装設備等工事</li> <li>送排風機風量不足対応</li> </ul>																							<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年1月：管理区域用送風機、排風機単体作動試験</li> <li>管理区域用送風機、排風機の単体作動試験（2台運転時）の風量不足を確認。</li> <li>竣工予定時期は原因調査の結果を踏まえて検討。</li> </ul>				
			バイオアッセイ施設	<p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計検討</li> </ul>																											
			総合分析施設	<p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概念検討</li> </ul>																											

廃炉中長期実行プラン2021



注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る

# 瓦礫類収納容器の点検状況

2021年6月24日



東京電力ホールディングス株式会社

# 1.点検状況

## (1) 外観目視点検

- バウンダリ機能（容器、シート養生）が必要※な瓦礫類収納容器(5,338基)の外観目視点検の実施状況 ⇒ 作業スケジュール①
- 2021年4月15日～2021年6月: **6月21日時点 3,246基完了**

※飛散抑制（対象：表面線量率（ $\gamma$ ）で0.1mSv/h以上の瓦礫類の他、表面線量率（ $\beta$ ）が0.01mSv/h以上の瓦礫類）

## (2) 内容物確認

- 内容物の把握に時間を要する、もしくは困難な状況にある瓦礫類収納容器(4,011基)の内容物確認（水分有無を確認含む）の実施（2021年7月～10月） ⇒ 作業スケジュール②
- 瓦礫類収納容器の一時保管を申請する際、収納物に水分を含んでいないことを確認するため、2021年7月から収納物の写真を添付して申請する運用に変更予定

作業スケジュール

	2021年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
外観目視点検	①	■					
内容物確認			②	■			

※作業スケジュールは天候の影響により変更の可能性あり。

## 2.モニタリングについて

---

- ▶ バウンダリ機能（容器、シート養生）が必要※な容器を保管している一時保管エリアのモニタリングの強化

### <瓦礫類収納容器の外観目視点検中のモニタリング強化（新規）>

- 容器から放射性物質が漏えいしていないことを確認するため、一時保管エリアの排水経路となっている側溝や溜枳直近の線量当量率（70 $\mu$ m, 1cm）を1回/日（日曜日除く）定点測定し、有意な変動が無いことを確認する

### <一時保管エリアのモニタリング>

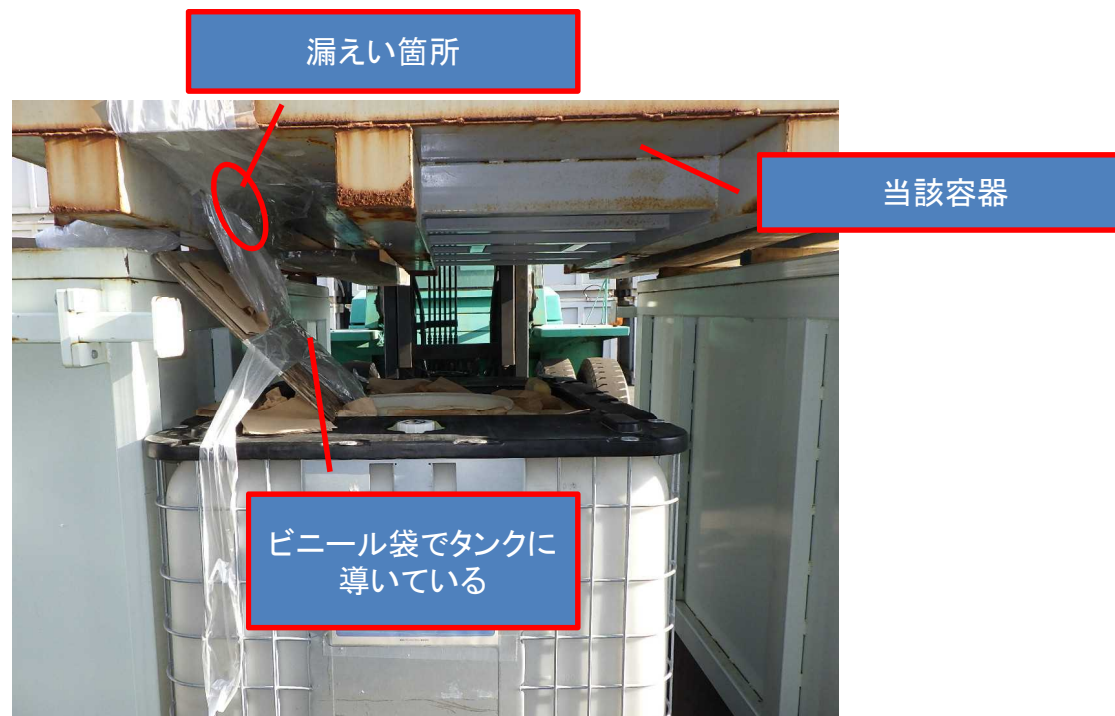
- エリア巡視及び空間線量率測定：1回/週  
空気中放射性物質濃度測定：1回/3ヵ月（継続）
- 念のため、容器を移動した都度、移動前に定置していた地表面の線量当量率（70 $\mu$ m, 1cm）を測定し、容器からの漏えいが無いことを確認する（新規）

### <雨水排水のモニタリング（継続）>

- 一時保管エリアの雨水排水経路である陳場沢川（1回/1ヵ月）、物揚場排水路（連続）のモニタリング

## 【参考】点検中の瓦礫類収納容器からの水漏れ事象について

- 事象：6月1日に一時保管エリアXで瓦礫類収納容器の外観点検を実施していたところ、容器の底面の一部に著しい腐食を発見したため、フィラメントテープで補修した。その後、当該箇所から滲みが確認され、状況確認のためテープを剥がしたところ水が漏れ出した。
- 処置内容：水抜きを実施して、フィラメントテープで補修し、6月2日に固体廃棄物貯蔵庫2棟に保管した。
- 容器に水が溜まった原因：当該容器は、蓋と胴体部の隙間部が養生された状態で保管されていたこと、及び容器の内部を確認したところ、吸水シート・紙・ウェスなどは無く、金属ガラ（鉄骨）が確認されたことから、漏れ出した水は、金属ガラを瓦礫類収納容器に収納する作業時に混入した雨水の可能性が高いと推定しています。
- 漏れ出した水の分析結果：Cs-134：24Bq/L，Cs-137：610Bq/L，全β：760Bq/L



水受けタンクによる漏えい拡散防止の状況

水が漏れ出した瓦礫類収納容器の全景

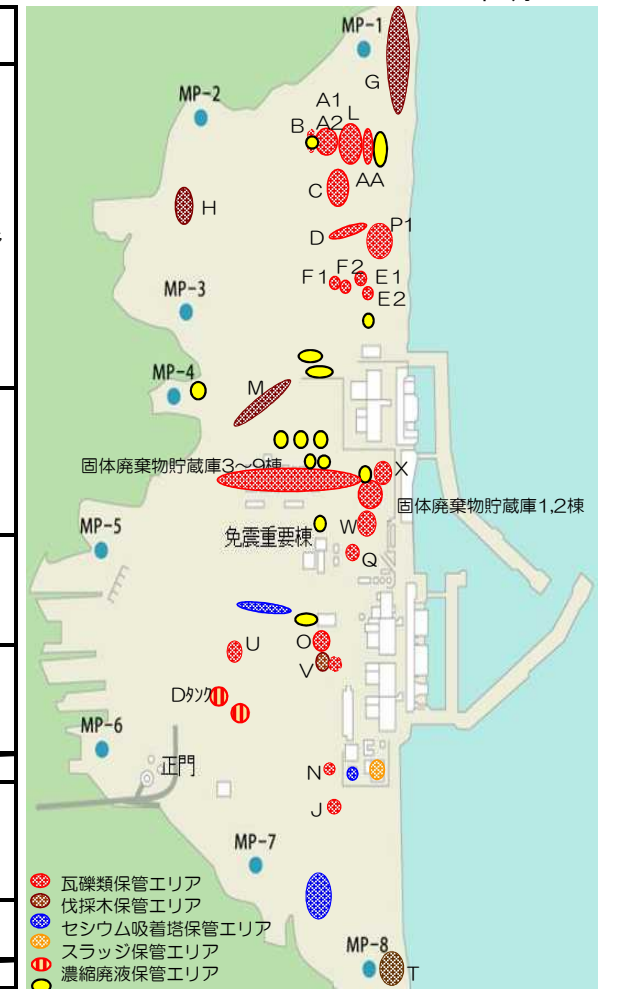


漏れ出した水の受けタンク



### 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2021.5.31時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界空間線量率(mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 <sup>※1</sup> (2021.4.30 - 2021.5.31)	変動理由 <sup>※2</sup>	エリア占有率	保管量 <sup>※3</sup> /保管容量(割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	屋外集積	0.15	500 m <sup>3</sup>	微減	⑤	0%	225300 / 270200 (83%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランジタンク解体片</li> <li>2021年5月末時点でコンテナ1,149基保管。</li> <li>エリアP1コンテナ数：628基 (2015年6月15日～)</li> <li>エリアAAコンテナ数：521基 (2018年3月15日～)</li> <li>・エリアAは1～30mSv/hの瓦礫類をテント内に仮設集積中。これら瓦礫類を固体庫に移動後、低線量率瓦礫類一時保管エリアとして使用予定。</li> <li>・エリアCのエリア整理により、保管容量(3,700m<sup>3</sup>)増加。(2020年7月)</li> </ul>
	B	屋外集積	0.01	5,300 m <sup>3</sup>	0	—	100%		
	C	屋外集積	0.01未満	66,800 m <sup>3</sup>	-200	②⑩	100%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m <sup>3</sup>	0	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	6,200 m <sup>3</sup>	0	—	78%		
	N	屋外集積	0.01未満	9,600 m <sup>3</sup>	0	—	96%		
	O	屋外集積	0.01未満	44,000 m <sup>3</sup>	0	—	86%		
	P1	屋外集積	0.01未満	62,600 m <sup>3</sup>	微減	⑤	98%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m <sup>3</sup>	0	—	100%		
	V	屋外集積	0.01	6,000 m <sup>3</sup>	0	—	100%		
AA	屋外集積	0.01未満	17,200 m <sup>3</sup>	+200	⑥	47%			
瓦礫類 シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m <sup>3</sup>	0	—	58%	42200 / 71000 (59%)	
	E1	シート養生	0.02	14,600 m <sup>3</sup>	0	—	91%		
	P2	シート養生	0.01	5,900 m <sup>3</sup>	0	—	65%		
	W	シート養生	0.03	11,200 m <sup>3</sup>	-100	⑤	38%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 容器(1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m <sup>3</sup>	0	—	100%	17900 / 24600 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な瓦礫類は、1～4号機工事等で発生した瓦礫類。</li> </ul>
	E2	容器 <sup>※4</sup>	0.01未満	1,200 m <sup>3</sup>	0	—	68%		
	F1	容器	0.01未満	600 m <sup>3</sup>	0	—	99%		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 <sup>※4</sup>	0.01	25,600 m <sup>3</sup>	+100	①⑤	65%	25600 / 39600 (65%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な瓦礫類は、1～4号機工事等で発生した瓦礫類。</li> <li>・固体庫9棟2階の運用変更により、保管容量(8,400m<sup>3</sup>)減。(2021年2月)</li> </ul>
合計(ガレキ)				311,000 m <sup>3</sup>	-100 m <sup>3</sup>	—	77%		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m <sup>3</sup>	0	—	63%	97400 / 134000 (73%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m <sup>3</sup>	0	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,800 m <sup>3</sup>	微増	⑦	88%		
	V	屋外集積	0.01	600 m <sup>3</sup>	微増	⑦	10%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m <sup>3</sup>	0	—		
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m <sup>3</sup>	0	—	94%			
合計(伐採木)				134,700 m <sup>3</sup>	微増	—	77%		
保護衣 屋外集積	容器	0.01	33,000 m <sup>3</sup>	+300	⑬	48%	33000 / 68300 (48%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済保護衣等焼却量 9,187t (2021年5月末累積)</li> <li>・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 2,445本 (2021年5月末累積)</li> </ul>	
	合計(使用済保護衣等)				33,000 m <sup>3</sup>	+300 m <sup>3</sup>	—	48%	

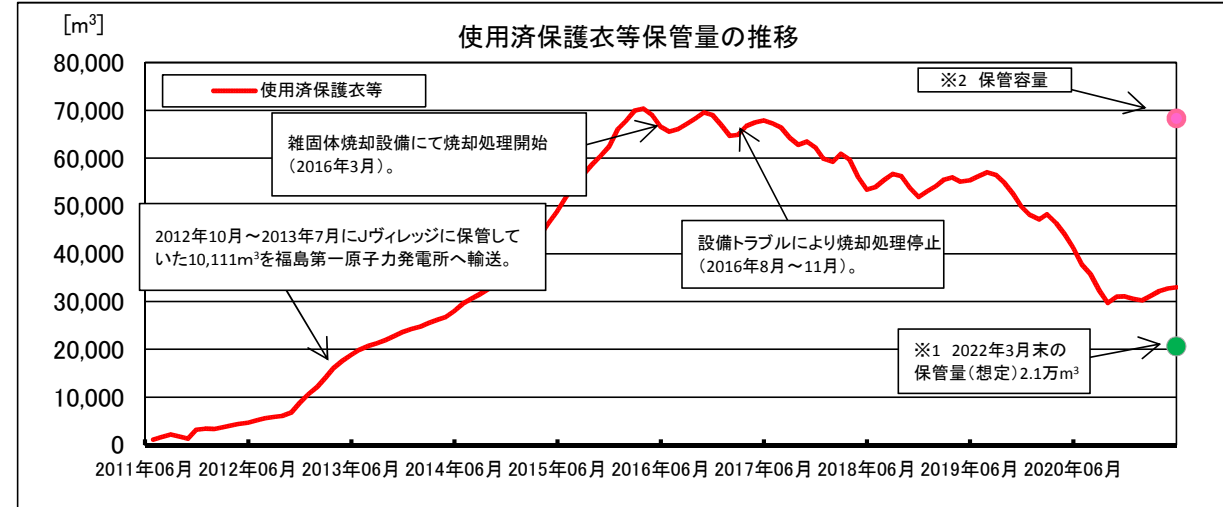
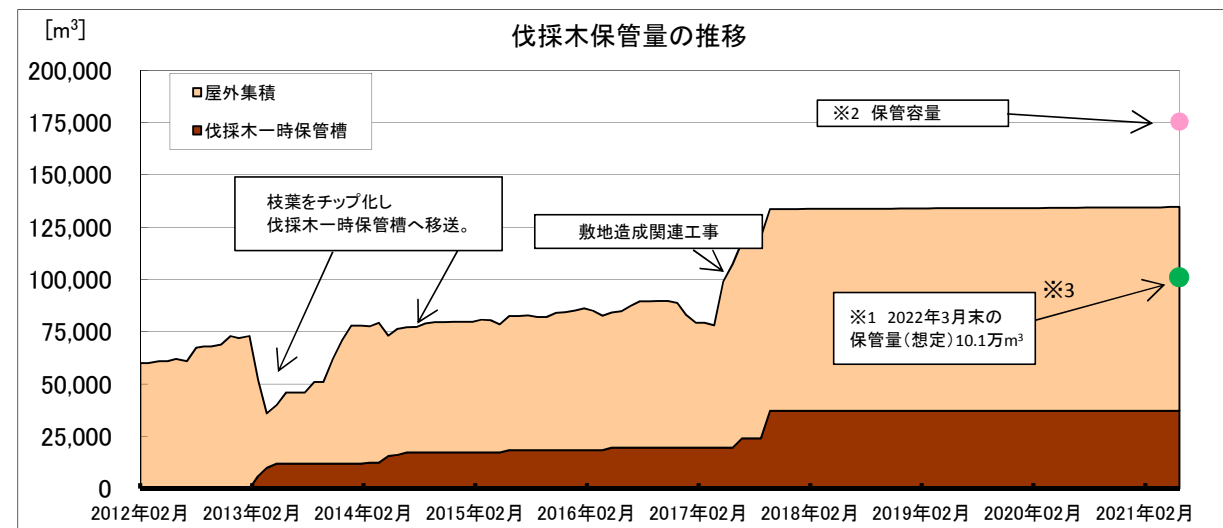
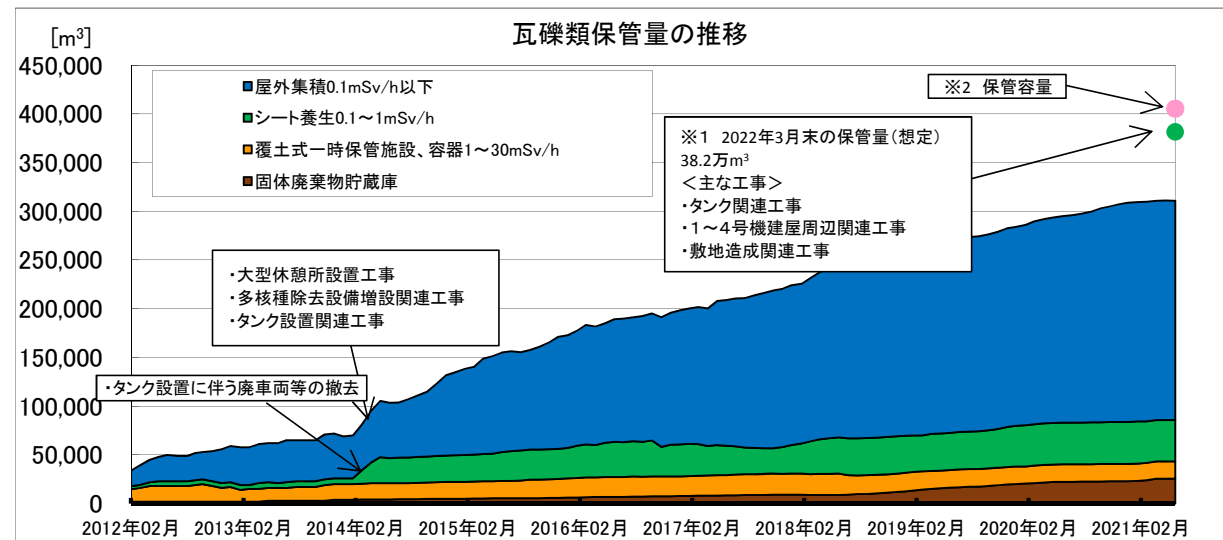


※1 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは50m<sup>3</sup>未満の増減を示す。  
 ※2 主な変動理由：①1～4号機建屋周辺関連工事 ②タンク関連工事 ③敷地造成関連工事 ④構内一般廃棄物 ⑤エリア整理のための移動 ⑥フランジタンク除染作業  
 ⑦伐採木受入 ⑧港湾関連工事 ⑨水処理設備関連工事 ⑩砕石取り出し ⑪5,6号機建屋周辺関連工事 ⑫その他作業 ⑬焼却運転の未実施  
 ※3 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。  
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

### 水処理二次廃棄物の管理状況(2021.6.3時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減(2021.5.6 - 2021.6.3)	保管量/保管容量(割合)	トピックス
水処理二次廃棄物 使用済吸着塔 保管施設		セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	5139 / 6372 (81%)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	244 本	0 本		
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	9 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,911 基	+7 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	83 本	+14 基		
		多核種除去設備処理カラム	17 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	215 本	0 本		
水処理二次廃棄物 廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		468 m <sup>3</sup>	+43 m <sup>3</sup>	468 / 700 (67%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞留水処理に伴う除染装置の運転計画は無く運転によって新たに廃棄物が増える見込みは無い。</li> <li>・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。</li> </ul>
水処理二次廃棄物 濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,380 m <sup>3</sup>	+12 m <sup>3</sup>	9380 / 10300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし)</li> <li>・水位計0%以上の保管量：9,280 [m<sup>3</sup>]</li> <li>・タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m<sup>3</sup>]</li> </ul>

### 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2021.5.31時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2021年4月6日認可)の予測値を示す。  
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。  
 ※3 増設雑固体廃棄物焼却設備の竣工遅れに伴い見直し予定

### 水処理二次廃棄物の管理状況(2021.6.3時点)

